

熊本市 感染症発生動向調査 速報

●インフルエンザが2週連続「注意報レベル」を超え増加中です！！



感染症発生動向調査で、熊本市の第3週(1月16日～1月22日)の定点医療機関あたりの患者報告数は、前週から大幅増の23.52人(定点数25ヶ所、患者報告数588人)となり国の注意報レベルの定点あたり10人を2週連続超えています。今後とも感染予防に努めましょう。



◆予防法は？

- 1) 流行前のワクチン接種。
- 2) 飛沫感染対策としての咳エチケット。
- 3) 適度な湿度の保持。外出後の手洗い等。
 ・空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。
 特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度(50～60%)を保つことも効果的です。
- 4) 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取。人混みや繁華街への外出を控える。

◆かかったらどうすればいいの？

- 1) 具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。
 - 2) 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
 - 3) 水分を十分に補給しましょう。お茶でもスープでも飲みたいもので結構です。
 - 4) 咳やくしゃみ等の症状のある時は、周りの方へうつさないように、不織布製マスクを着用しましょう。
 - 5) 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等に行かないようにしましょう。
- また、小児、未成年者では、インフルエンザの罹患により、急に走り出す、部屋から飛び出そうとする、ウロウロと歩き回る等の異常行動を起こすおそれがあるので、自宅において療養を行う場合少なくとも発症から2日間、小児・未成年者が一人にならないよう配慮しましょう。
 ※厚生労働省インフルエンザQ&Aから抜粋 詳しくは外部リンクを下のほうに載せています。



期 間		平成29年 第2週		平成29年 第3週	
		1/9～1/15		1/16～1/22	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		276	11.04	588	23.52
RSウイルス感染症		7	0.44	6	0.38
咽頭結膜熱(プール熱)		3	0.19	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		25	1.56	46	2.88
感染性胃腸炎		161	10.06	201	12.56
水痘(みずぼうそう)		11	0.69	13	0.81
手足口病		14	0.88	35	2.19
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
突発性発しん		13	0.81	10	0.63
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		23	1.44	5	0.31
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		19	3.80	13	2.60
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		3	0.60	2	0.40
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		2	0.40	1	0.20